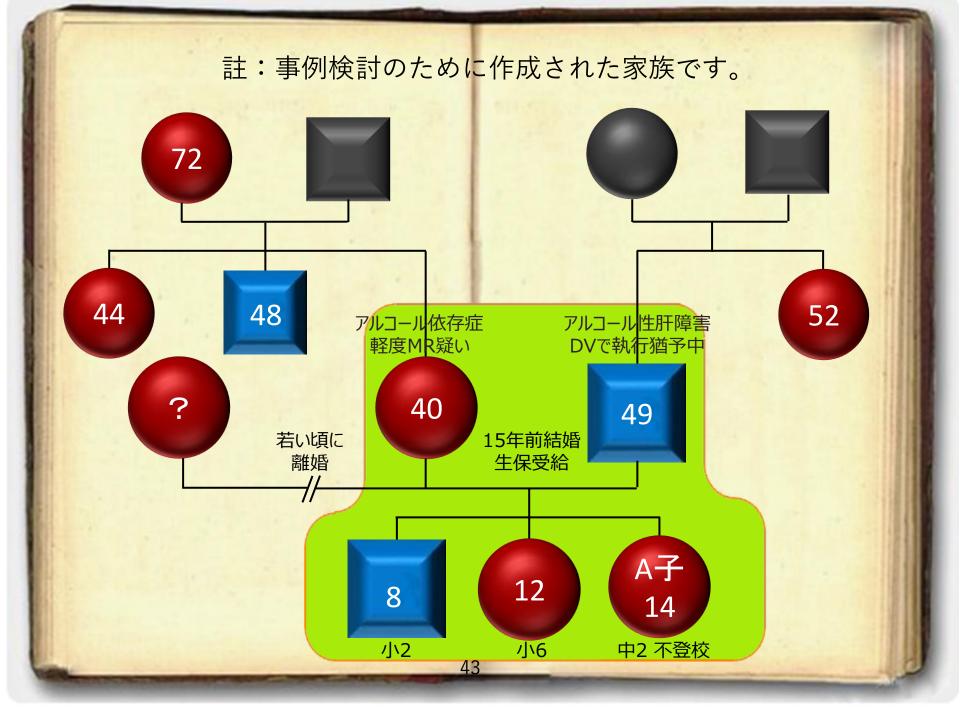
子ども・家族のビジュアル系

十六 ~相互作用をイラストで~ 仮想事例検討会 まとめ

間隔があいているので、事例を再掲します。

*



両親について

しがとれう紹様が て疑もて。介々死母 母親は、三人兄弟の末っ子。幼少時に父親母親は、三人兄弟の末っ子。幼少時に父親のおれている。母方兄、姉はそれぞれ結婚をおれている。母方兄、姉は昼ごろに起きるこで酒量が増えた。最近は昼ごろに起きるこで酒量が増えた。最近は昼ごろに起きるこで活動が増えた。最近は昼ごろに起きるこでおり、ほとんど行き来はない。

困いもれど半コ焰る。を母執も年1後父 るからと離婚は考えていない。。そ前、酔った妻への暴言・暴力ともたちを突きとばしたことで逮捕年前、酔った妻への暴言・暴力ともたちを突きとばしたことで逮捕のががからと離婚を口にするが、一執行猶予中。 が建している。 訴るいかさる。

ない。れば子どもたちが、一人で子が がなど

子どもたちについて

事のごむ入校ら を世ろ日るし食長 す話にがとて事女るがふ増学い・は では、 いじめもあって体質も悪くはなかった。 現在は週1~2回、原原はなく、いじめもあって体質も悪くはなかった。 中学に何題等のサポートを受けて登ります。 小学校時代は、担任かりないのでは、 い学校時代は、担任かりないのでは、 い学校時代は、担任かりないのでは、 い学校時代は、 担任かりないのでは、 い学校時代は、 担任かりないのでは、 はなかった。 中学に 家ち昼休に登か

学ずわは 学校は様々な配慮をしている。ず母親をかばう。2人とも通常学級でわれるとしぶしぶ従う。両親が口論すは、身なり・宿題・登校など、父親に小6次女・小2長男(いずれも怠学 心学傾向) で低学力、

今回の経緯

さ生し的怒親が 母れきてに鳴が一母 親たて近りつ「い親は。いくスた学いの てのト。校加飲も交カ父を減酒 仕番ツ親休にを 方にトのむし父 が行を態やて親 なきし度つよが い、てにが!叱と家家驚偉」っ 訴にをいそとてえ帰出たう言い でなば、なれ 保いら発しに長 `く作と父女

は、 児相に呼び出され て事情を聞 か れ

とくはる 結上止た を父家、話局げめう 結上止た 考親庭父し、そがええの引親合子うきに る提きはいどにか長 こ案取暴のもなな女 とをり言結全りくかに受とを果員、なら なけな控、の心っは つ入つえ母一配た 帰 たれたるは時し。宅 保長約酒護次高拒 護女束のと女しま 所は。たながたれ で迷次める児父 今っ女に 。相親飲後た・通 にが酒 電手に話を歯 のあ長院 こげ男す

「ビジュアル」系というタイトルですので、前回までのディスカッションをふまえ、家族の相互作用の変化を図に表してみました。 イラストはフリー素材から選んで微調整し、好き勝手に組み合わせて

います。



義務感 孤独感 孤立感 執行 猶予中

父親の 意地 メッセージ 「お父さんは今のままがいい!」

> 暴力やアルコール欲求を しっかり抑えていることの 評価。長女とともに一家の 中心的役割を果たしている ことの確認。

義務感

執行 猶予中

> 現状の評価 長女と連帯

孤独感 孤立感

居場所 の無さ 罪悪力 アル 依存 メッセージ 「お母さんのお酒は、弱さ や怠けの表れではない!」

現状は怠けではないという診断と通院治療という 新たな目標。

次女・長男 の存在

> 心身の 不具合 無力感

診断と 通院 通院サポート

父親 に失望 不登校

> 責任感 自負心

メッセージ 「学校よりずっと大事な役割がある から家に居る、それは英断だ!」

> 労われて増す存在感。不 登校ストレスの減少、父 親との連帯。

将来 の不安 登校 の不安

> 必要な存在 現状の肯定

学校より 家族 頼りない
母親
厳しい
父親

学校の サポート メッセージ 「妹弟はずっとお母さんの味 方であり、支えだった!」

> 家庭での役割分担を父親 が評価。A子からの学習 等の支援。

学校が発見

家族全体の 落ち着き

母親通院への期待